

これからの時代の家庭教育支援の在り方 ～つながりが創る豊かな家庭教育～

家庭教育は、全ての教育の出発点であり、子供たちが「生きる力」の資質や能力を身に付けていく基礎をつくることから、適切な家庭教育を受けることは、全ての子供にとって重要です。しかし、現代の社会は、家庭環境の多様化や地域社会の変化により、家庭教育が困難な社会となっています。

家庭教育の自主性を尊重しつつも、地域や学校をはじめとする豊かなつながりの中で家庭教育が行われるために、どのような支援ができるのか。親子が元気になる家庭教育支援の在り方について考えます。

開催日 平成27年1月27日(火)～28日(水)

会場 独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター

所在地 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

アクセス 小田急線参宮橋駅徒歩7分、東京メトロ千代田線代々木公園駅徒歩10分



基調講演

つながりが創る
豊かな家庭教育

～これからの
家庭教育支援の在り方～

汐見 稔幸
(白梅学園大学学長)



事例報告1

親子が元気になる家庭教育支援を目指して

事例報告2

訪問型家庭教育支援について

パネルディスカッション

中高生の生活習慣づくりについて

ワークショップ

希望テーマ別に、4～6名の小グループに分かれ、グループ討議を行います。

●**ねらい**：家庭教育支援の成果と課題を共有し、未来につなぐ

テーマ1

親の学びを応援する学習機会の提供

就園前・就園中・就学前・就学中と親の学びの段階を意識しながら、学習機会の提供について再検討します。

テーマ2

地域における親子の居場所づくり

子育てサークル、NPO、商業施設やフードコート等の多様な場所を想定しつつ、必要な親に必要な情報も届けられる居場所を考えます。

テーマ3

訪問型家庭教育支援

グループ相談から戸別訪問まで間口を広くアウトリーチ活動をとらえ、今後の有効な支援のあり方を考えます。

テーマ4

学校・家庭・地域の連携による 中高生の生活習慣づくり

社会の影響を強く受ける中高生の生活習慣を、学校・家庭・地域の連携という観点から有効な方策を考えます。

参加を希望される場合は、希望するテーマを第2希望までお知らせください。なお、傍聴のみの参加も可能です。

1日目 1月27日 (火)

- 13:00-13:10 開会行事**
- 13:10-13:20 家庭教育支援チームの振興方策について**
新しい家庭教育支援チームの登録制度及びロゴマークの発表
- 13:20-15:20 事例報告①**
親子が元気になる家庭教育支援を目指して
コーディネーター
相川良子 (NPO法人ピアサポートネットしづや理事長)
- 事例報告**
 - ・ NPO法人ファザージング・ジャパン
 - ・ 兵庫県教育委員会
 - ・ NPO法人唐津市子育て情報センター
 - ・ 秋田県教育委員会
- 15:20-15:35 休憩**
- 15:35-17:05 パネルディスカッション**
中高生の生活習慣づくりについて
コーディネーター
鈴木みゆぎ (和洋女子大学教授)
- パネラー**
 - ・ 原田哲夫 (高知大学教授)
 - ・ 馬場幸治 (三戸町教育委員会総務班長)
 - ・ 前田智子 (横浜市教育委員会健康教育課主任指導主事)
 - ・ 山本路子 (兵庫県宍粟市立千種中学校養護教諭)
- 17:05-18:30 実践交流会**
- 18:30-20:00 情報交換会**

2日目 1月28日 (水)

- 9:00-10:10 基調講演**
つながりが創る豊かな家庭教育
～これからの家庭教育支援の在り方～
汐見 稔幸 (白梅学園大学学長)
- 10:10-10:25 休憩**
- 10:25-11:55 事例報告②**
訪問型家庭教育支援について
コーディネーター
山野則子 (大阪府立大学教授)
- 事例報告**
 - ・ 別府市教育委員会
 - ・ 伊勢原市教育委員会
 - ・ 大洲市家庭教育支援チーム
- 11:55-13:00 昼食休憩**
- 13:00-15:30 ワークショップ**
家庭教育支援の成果と課題を共有し、未来につなぐ
ワークショップテーマ
テーマ1 親の学びを応援する学習機会の提供
テーマ2 地域における親子の居場所づくり
テーマ3 訪問型家庭教育支援
テーマ4 学校・家庭・地域の連携による中高生の生活習慣づくり
ファシリテーター
清國祐二 (香川大学教授)
- 15:30 閉会**

参加申込みについて

申込締切 平成27年1月18日

参加希望の方は、ホームページの申込みフォームからお申し込みいただくか、下記に必要事項を記入の上、FAXでお申し込みください。
URL : <https://supportoffice.jp/mextkateikyoku> FAXでのお申し込みは **03-5331-3239** まで

お名前	ふりがな	性別 (男・女)	所属団体名等
	〒		
住所			
TEL	FAX		
E-mail			
参加希望日	両日参加 ・ 27日のみ ・ 28日のみ	ワークショップへの参加	参加する・傍聴で参加する
ワークショップ希望テーマ	第1希望 テーマ1 ・ テーマ2 ・ テーマ3 ・ テーマ4	第2希望 テーマ1 ・ テーマ2 ・ テーマ3 ・ テーマ4	
情報交換会	参加する ・ 参加しない	「情報交換会」欄 情報交換会は立食形式で、参加費は3,000円となります(当日徴収いたします)。	
宿泊希望	希望する ・ 希望しない	「宿泊希望」欄 国立オリンピック記念青少年総合センターへの宿泊を御希望の方は、○印を入力してください。 宿泊料金は5,100円となります(当日徴収いたします)。設備・備品等については、国立オリンピック記念青少年総合センターのHPをご覧ください。	
託児希望	希望する ・ 希望しない	「託児希望」欄 託児は、6か月から就学前のお子様を対象としています(無料)。 御希望の方には、追って事務局から御連絡させていただきます。	
ロゴマーク投票	A ・ B ・ C		

文部科学省では、家庭教育支援チームを応援するため、家庭教育支援チームロゴマークを作成することにしました。皆様からの投票を踏まえて決定し、本研究協議会において発表いたします。下記の候補から一番良いと思うロゴマークに投票してください。

A



「温かく包む支援の輪」
地域の人々の支援の輪が、子供や保護者の方を温かく包み込むようなイメージ

家庭教育支援チーム

B



「人々の関心が創る笑顔の家庭教育支援」
地域の人々による関心が笑顔のある家庭教育支援を創り上げるというイメージ

家庭教育支援チーム

C



「手を差し伸べる地域のつながり」
地域の人々のつながりが豊かな家庭教育支援を実現させるというイメージ

家庭教育支援チーム